

ドクター・パッチ m

超軽量ポリマーセメントモルタル



特長

- 天井・壁面の補修に最適な超軽量タイプのモルタルです。
- 1回で厚塗りが可能な為、工期が短縮できます。
- カチオン性再乳化形粉末樹脂一材型の為、水で練るだけで強力な接着力を発揮します。
- ひび割れ防止の為、ファイバーを配合してあります。

用途

- コンクリート造のあげ裏、壁面などの欠損補修
- 鉄筋露出部の補修

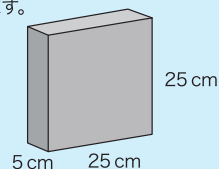


荷姿・標準仕様

粉体	水量	練上り量	施工面積	塗厚
16kg箱(4kg×4袋入り)	5.2 kg	約14.4ℓ	10mm厚で1.44m ²	0~60mm
4kg×1袋あたり	1.3 kg	約3.6ℓ	10mm厚で0.36m ²	

	圧縮強さ(N/mm ²)		曲げ強さ(N/mm ²)		付着強さ(N/mm ²)	
	7日	28日	7日	28日	7日	28日
材令	7日	28日	7日	28日	7日	28日
強度	18.0	25.0	4.0	6.5	1.2	2.0

※ 4kg袋が1袋で奥行き5cm、
タテ25cm×ヨコ25cmサイズの
補修ができます。



施工手順

① 下地処理

- 剥落の恐れがある浮き、脆弱部はハンマーなどでハツリ取ります。
- 下地(塗り付け箇所)の汚れ、ほこり、油分その他付着物はワイヤーブラシ、サンダーなどで除去してください。
- 露出した鉄筋のサビはワイヤーブラシで除去してください。

② プライマー・防錆処理

- 下地は乾燥状態とします。
- ポリマー3倍液型(又はアクリット)の3倍希釈液(原液1:水2)をハケ等でコンクリート下地に塗布してください。
- 鉄筋部には防錆剤を原液のまま、ハケ等で塗布してください。

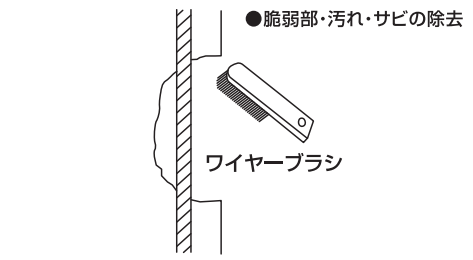


③ 練り混ぜ・塗り付け

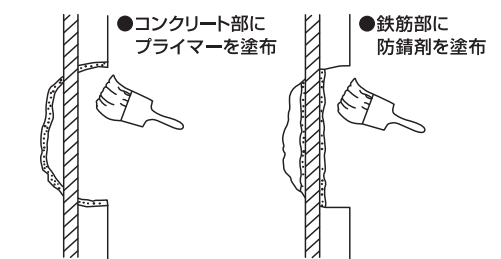
- ドクターパッチmと水を標準調合(粉体4kg:水1.3kg)に従い、練り混ぜます。
- 下地にこすり付ける要領で塗り込み、コテで平滑に仕上げてください。
- 1回の塗り厚は50~60mmまでとし、大きな欠損部(25mm厚×300mm×300mm以上)では、落下防止の為、ステンレスアンカーピン及びステンレス線を併用してください。

- ※ ハンドミキサーでの練り混ぜの場合、アルミ製の羽根は使用しないでください。
- ※ 練り混ぜ後は可使時間内(夏季40分、冬季60分)に使い切ることとし、練戻しは避けてください。
- ※ 仕上材の施工までの期間は夏季7日間、冬季14日間以上養生を行ってください。
- ※ 下地がアルミニウム、ステンレス、FRP、亜鉛メッキ及び軟質下地等の場合は十分な接着力が得られませんので、使用を避けてください。

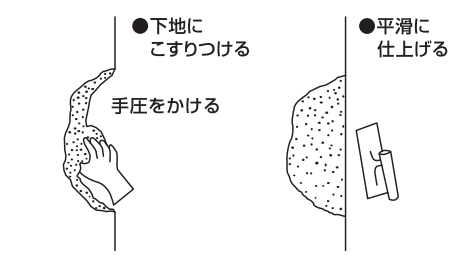
手順① 下地処理



手順② プライマー・防錆処理



手順③ 練り混ぜ・塗り付け



施工上の注意

- 硬化時間は、水温、気温、保管状態により異なりますのでご注意ください。
- 現場での砂、セメント等の混入は避けてください。
- 施工完了後は直射日光や風雨を避ける為、シート等を用いて養生を行ってください。
- 気温が5℃以下では、施工を中止するか、適切な養生を行ってください。

取扱い上の注意

- 取扱い時は、必ず保護具(保護手袋、保護眼鏡、マスク等)を着用し、換気の良い場所で行ってください。
- 取扱い後は、うがい、手洗いを充分に行ってください。
- 取扱い後は、使用した工具を早目に水洗いしてください。
- 目に入った場合は、直ちに多量の水で洗眼し、医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 誤飲した場合は、多量の水を飲ませ、吐かせた後、医師の診断を受けてください。
- 湿気、直射日光を避け、屋内で保管することとし、他容器に小分けして保管しないでください。
- 廃棄の際には都道府県知事許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- ご使用前にSDS(安全データシート)を熟読ください。



本社・東京営業所 / 〒120-0047 東京都足立区宮城2-4-16 TEL.03(3927)1331 FAX.03(3927)1334
福島営業所 / 〒960-8075 福島県福島市下野寺字遠原3-2 TEL.024(591)1131 FAX.024(591)1127
盛岡営業所 / 〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ2-1-17 TEL.019(641)1131 FAX.019(641)1332
大阪営業所 / 〒535-0005 大阪府大阪市旭区赤川2-1-26 TEL.06(6927)3132 FAX.06(6927)3130

特約店